



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス

コード番号 4812 URL <http://www.isid.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 釜井 節生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 酒井 次郎

TEL 03-6713-6160

四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,956	6.2	△431	—	△301	—	△179	—
25年3月期第1四半期	14,084	9.5	△325	—	△261	—	△219	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △737百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △694百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△5.51	—
25年3月期第1四半期	△6.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	56,619	36,831	65.0
25年3月期	58,798	37,903	64.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 36,811百万円 25年3月期 37,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,900	3.1	920	△37.7	1,040	△35.4	630	△33.4	19.34
通期	75,500	3.8	4,460	6.4	4,700	9.0	2,870	9.5	88.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	32,591,240 株	25年3月期	32,591,240 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	8,110 株	25年3月期	8,110 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	32,583,130 株	25年3月期1Q	32,583,250 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、5ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化等を背景とした不透明感は依然として残るものの、円高の是正や経済政策への期待等から、景気に改善の兆しが見られつつあります。情報サービス産業におきましても、金融業や製造業のIT投資に回復傾向が見られ始めており、足下はいまだ厳しさが残るものの、先行きには明るさが戻りつつあります。

かかる状況の下、当社グループは、3ヵ年の中期経営計画「ISID Open Innovation 2013」の推進を通して、当社グループの差別化ならびに業績の拡大に取り組んでおります。この中期経営計画は、「価値協創」をテーマとして掲げ、お客様、電通グループ、その他のあらゆるパートナーとのコラボレーションを通じて時代を先取りした新しい価値を創出し、お客様や社会の課題解決に貢献することを目指しております。

計画最終年度となる当連結会計年度においても、競争優位性のさらなる追求のため、主力ソフトウェア製品の機能強化や新規ソリューションの開発を推進するほか、海外拠点の新規開設、主要顧客への深耕等により、売上高ならびに利益の拡大を図っております。特にソフトウェア製品については、連結会計や人事管理など、当社が注力する領域を対象としたソフトウェアの新バージョンを当第1四半期連結会計期間に相次いで市場投入いたしました。また、当第1四半期連結会計期間より、基幹システム・経営管理ソリューションを取り扱うエンタープライズソリューション・ビジネス系セグメントと、製造業の製品開発ソリューションを取り扱うエンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメントを、エンタープライズソリューションセグメントとして1つに統合しました。企業の経営課題が多岐にわたる中、お客様の視点に立ったソリューションを構築・提供することを目的に、一体となった事業基盤のもとお客様にとってさらなる価値ある提案に努めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,956百万円(前年同期比106.2%)となりました。当社グループが展開する3つの事業セグメントのうち、エンタープライズソリューションは減収となったものの、金融ソリューションならびにコミュニケーションITが増収を牽引しました。

一方、利益面では、ソフトウェア償却費の増加や円安による原価増の影響等で売上総利益率が低下したため、売上総利益はほぼ前期並みの4,116百万円(前年同期比99.0%)となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比微増の4,548百万円(前年同期比101.5%)となったため、営業損失は△431百万円(前年同期は△325百万円)、経常損失は△301百万円(前年同期は△261百万円)とそれぞれ減益となりました。四半期純損失は、前年同期は特別損失に固定資産除却損を計上していたことから、△179百万円(前年同期は△219百万円)とわずかながら損失が減少しました。

事業セグメント別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

■事業セグメント別売上高

事業セグメント	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日		前年同期比 %
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
金融ソリューション	4,304	30.6	4,888	32.7	113.6
エンタープライズソリューション	6,649	47.2	6,354	42.5	95.6
コミュニケーションIT	3,129	22.2	3,712	24.8	118.6
合計	14,084	100.0	14,956	100.0	106.2

(注) 「金融ソリューションセグメント」では、金融業界を対象とした各種金融サービスに関わるソリューションを提供します。「エンタープライズソリューションセグメント」では、基幹システムや経営管理分野を対象としたソリューションならびに製品開発・製造分野を対象としたソリューションを提供します。「コミュニケーションITセグメント」では電通グループとの協業による企業向け各種ソリューションを提供します。

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション 4,888百万円 (前期比113.6%)

大手金融機関の事業拡大に伴う旺盛なIT投資需要を背景に、海外拠点向けシステム、市場系システム、トランザクションバンキングシステム等のシステム開発がメガバンク向けを中心に拡大しました。その他、ネット系金融機関におけるシステム開発が拡大したことに加え、地域金融機関向けソリューション「BANK・R (バンクアール)」やリース業向け海外拠点基幹業務ソリューション「LAMP (ランプ)」などソフトウェア製品の販売も堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

エンタープライズソリューション 6,354百万円 (前年同期比95.6%)

製品開発プロセスを対象としたソリューションは、コンサルティングサービスを中心に堅調に推移しました。しかしながら、基幹業務を対象としたソリューションにおいて、「SAP ERP」などを活用した基幹システム構築サービスが厳しく推移したことから、当セグメントの売上高は減収となりました。

コミュニケーションIT 3,712百万円 (前年同期比118.6%)

電通から受注した大型の基幹システム構築プロジェクトが継続していることに加え、電通グループとの協業の積極的推進により、マーケティング・プラットフォーム「iPLAss (アイプラス)」、クラウド型プラットフォーム「Force.com」等を活用したシステム構築サービスが、公共・自治体向けや、企業のマーケティング業務分野において堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

サービス品目別売上高および営業の状況は以下のとおりです。

■サービス品目別売上高

サービス品目	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日		前年同期比 %
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
コンサルティングサービス	361	2.6	485	3.3	134.3
受託システム開発	4,204	29.8	5,572	37.3	132.5
ソフトウェア製品	1,710	12.1	1,842	12.3	107.7
ソフトウェア商品	4,743	33.7	4,447	29.7	93.8
アウトソーシング・運用保守サービス	1,402	10.0	1,380	9.2	98.4
情報機器販売・その他	1,661	11.8	1,229	8.2	74.0
合計	14,084	100.0	14,956	100.0	106.2

(注)「コンサルティングサービス」は、業務およびITのコンサルティングサービスです。「受託システム開発」は、顧客の個別仕様に基づくシステムの構築および保守です。「ソフトウェア製品」は、自社開発ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「ソフトウェア商品」は、仕入ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「アウトソーシング・運用保守サービス」は、顧客システムの運用・保守・サポート、データセンター等を活用した情報サービスならびに業務の受託サービスです。「情報機器販売・その他」は、ハードウェアならびにデータベースやミドルウェア等のソフトウェアの販売および保守です。

■サービス品目別営業の状況

コンサルティングサービス 485百万円（前年同期比134.3%）

製品開発プロセスの上流工程である構想設計や解析・実験を対象としたコンサルティングサービスが製造業向けに拡大したことから、当サービスの売上高は増収となりました。

受託システム開発 5,572百万円（前年同期比132.5%）

電通向けに加え、メガバンクやネット系金融機関向け等も拡大したことから、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア製品 1,842百万円（前年同期比107.7%）

地域金融機関向けソリューション「BANK・R」、リース業向け海外拠点基幹業務ソリューション「LAMP」、マーケティング・プラットフォーム「iPLAss」等の拡大により、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア商品 4,447百万円（前年同期比93.8%）

シーメンスインダストリーソフトウェア株式会社が提供する3次元CAD「NX」の販売は堅調に推移したものの、「SAP ERP」などを利用した基幹システムの構築サービスが伸び悩んだことから、当サービスの売上高は減収となりました。

アウトソーシング・運用保守サービス 1,380百万円（前年同期比98.4%）

既存顧客向けのサービスが安定的に推移したことから、当サービスの売上高は前年同期並みとなりました。

情報機器販売・その他 1,229百万円（前年同期比74.0%）

前年同期に大型の導入案件が複数計上されていたことの反動から、当サービスの売上高は減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、主として売掛債権の減少やたな卸資産及び前渡金の増加により流動資産が1,194百万円減少したことに加えて、主として時価変動等による投資有価証券の減少により固定資産が985百万円減少した結果、前連結会計年度末の58,798百万円から2,179百万円減少し、56,619百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の部は、主として買掛債務の減少、賞与支払による未払費用の減少及び納税による未払法人税等の減少や前受金の増加により流動負債が846百万円減少したことに加えて、主として繰延税金負債の減少により固定負債が260百万円減少した結果、前連結会計年度末の20,894百万円から1,107百万円減少し、19,787百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、主として四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少や時価変動によるその他有価証券評価差額金の減少に伴い、前連結会計年度末の37,903百万円から1,072百万円減少し、36,831百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）および通期業績につきましては、平成25年5月10日に発表いたしました業績予想より変更はございません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,399	3,718
受取手形及び売掛金	19,703	15,679
商品及び製品	27	105
仕掛品	557	1,642
原材料及び貯蔵品	23	17
前渡金	4,065	5,923
預け金	7,203	7,299
その他	2,171	2,566
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	38,145	36,951
固定資産		
有形固定資産	5,608	5,669
無形固定資産		
のれん	63	57
その他	4,907	4,887
無形固定資産合計	4,971	4,944
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,073	9,055
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,072	9,054
固定資産合計	20,653	19,668
資産合計	58,798	56,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,570	4,541
未払法人税等	551	97
前受金	4,258	6,927
受注損失引当金	294	288
資産除去債務	9	5
その他	5,530	4,507
流動負債合計	17,214	16,368
固定負債		
役員退職慰労引当金	28	28
資産除去債務	761	773
その他	2,889	2,617
固定負債合計	3,679	3,419
負債合計	20,894	19,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	12,199	11,694
自己株式	△28	△28
株主資本合計	35,637	35,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,155	1,500
繰延ヘッジ損益	95	53
為替換算調整勘定	△12	124
その他の包括利益累計額合計	2,238	1,679
少数株主持分	27	20
純資産合計	37,903	36,831
負債純資産合計	58,798	56,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	14,084	14,956
売上原価	9,927	10,839
売上総利益	4,157	4,116
販売費及び一般管理費	4,482	4,548
営業損失 (△)	△325	△431
営業外収益		
受取利息	14	9
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	—	45
為替差益	51	41
雑収入	13	33
営業外収益合計	96	146
営業外費用		
支払利息	10	9
持分法による投資損失	20	—
雑損失	0	6
営業外費用合計	31	16
経常損失 (△)	△261	△301
特別損失		
固定資産除却損	79	—
特別損失合計	79	—
税金等調整前四半期純損失 (△)	△340	△301
法人税、住民税及び事業税	39	53
法人税等調整額	△163	△176
法人税等合計	△124	△123
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△216	△178
少数株主利益	3	1
四半期純損失 (△)	△219	△179

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△216	△178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△364	△654
繰延ヘッジ損益	△27	△41
為替換算調整勘定	△86	136
その他の包括利益合計	△478	△559
四半期包括利益	△694	△737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△697	△738
少数株主に係る四半期包括利益	3	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	金融ソリューション	エンタープライズ ソリューション	コミュニケーション IT	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,304	6,649	3,129	14,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,304	6,649	3,129	14,084
セグメント利益又は損失(△)	130	△740	285	△325

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失(△)は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	金融ソリューション	エンタープライズ ソリューション	コミュニケーション IT	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,888	6,354	3,712	14,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,888	6,354	3,712	14,956
セグメント利益又は損失(△)	328	△1,052	293	△431

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失(△)は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

製造業の構想設計やグローバル人事・管理会計など当社グループが強みを発揮できる領域において、競争力のあ
るソリューションをお客様視点で構築・提供することを目的として、平成25年4月1日付で当社のビジネスソリ
ューション事業部とエンジニアリングソリューション事業部を統合し、エンタープライズソリューション事業部とす
る会社組織の改編を行いました。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、これまでの4区分の報告セグメントのうち「エンタープライズソ
リューション・ビジネス系」と「エンタープライズソリューション・エンジニアリング系」を統合し、報告セグメ
ントを「金融ソリューション」「エンタープライズソリューション」「コミュニケーションIT」の3区分に変更し
ております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織改編後の報告セグメントの区分に基づき作成し
たものを開示しております。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

主として連結財務諸表提出会社の顧客に導入される情報システム及びそのソフトウェアの稼働時期は、期首及び第
3四半期会計期間期首からとなる場合が多いため、多くの顧客の決算期（年度末）である3月及び第2四半期会計期
間末である9月にシステム開発の完了又はソフトウェアの出荷・納入が集中します。そのため、当社グループの売上
は3月及び9月に集中する傾向があり、当社グループの生産、受注及び販売実績は季節的変動があります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年
同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）における生産実績をセグメントご
とに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
金融ソリューション	4,824	138.8
エンタープライズソリューション	2,405	111.4
コミュニケーションIT	2,667	155.4
合計	9,897	134.7

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）における生産実績をサービス品目
ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
受託システム開発	6,890	140.2
ソフトウェア製品アドオン開発	1,403	167.4
ソフトウェア商品アドオン開発	1,604	100.6
合計	9,897	134.7

(注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれて
おります。

2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。

3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金融ソリューション	4,501	121.4	4,185	119.4
エンタープライズソリューション	2,240	92.0	2,449	87.3
コミュニケーションIT	3,396	85.8	3,399	107.3
合計	10,139	100.3	10,034	105.8

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）における受注状況をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
受託システム開発	7,399	102.2	6,830	105.1
ソフトウェア製品 アドオン開発	899	113.4	1,525	123.9
ソフトウェア商品 アドオン開発	1,840	88.8	1,678	95.8
合計	10,139	100.3	10,034	105.8

(注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金融ソリューション	4,888	113.6
エンタープライズソリューション	6,354	95.6
コミュニケーションIT	3,712	118.6
合計	14,956	106.2

当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）における販売実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	販売高（百万円）	前年同四半期比（％）
コンサルティングサービス	485	134.3
受託システム開発	5,572	132.5
ソフトウェア製品	1,842	107.7
ソフトウェア商品	4,447	93.8
アウトソーシング・運用保守サービス	1,380	98.4
情報機器販売・その他	1,229	74.0
合計	14,956	106.2

（注）1．金額には、消費税等は含まれておりません。

2．主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）		当第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通	2,290	16.3	2,970	19.9